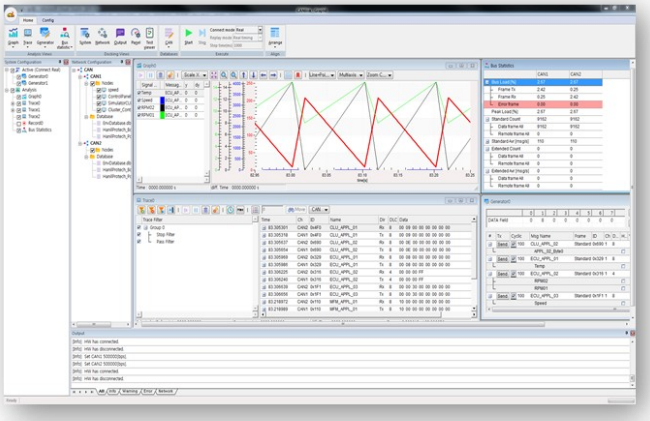
株式会社 ピーアンドエーテクノロジーズ

ViCSiM/+

Vehicle Communication Simulator and Monitor

Test & Analysis Tool for Vehicle communication



ViCSiM/+ はネットワーク設計エンジニアとテストエンジニアのための車両通信の評価と分析の為のツールです。

ViCSiM/+ はECUと通信システムの開発段階で特性を分析し、評価目的で車両通信をシミュレートするために使用されます。

トラフィックの監視

ViCSiM/+ はCAN/LINメッセージを次の形式で表示します。

- メッセージ名
- データ長
- データ内容
- データベースに基づく計算されたシグナル値
- バス統計

特定メッセージを抽出する為に「メッセージフィルター」「チャネルフィルター」を設定する事が出来ます。

ViCSiM/+ は同時に最大4チャンネルのデータを分析する事ができます。

メッセージの送受信

ViCSiM/+ はサイクル時間またはイベント（キーまたはパネルまたはスクリプト）でトリガされたメッセージを送信します。LINの場合、スケジュール表に基づいてデータを送信します。

データの分析と評価

ViCSiM/+ はCAN/LINデータベースファイル（*.dbc / *.ldf）を使用してメッセージの詳細を表示します。

各チャネルにおいて、個別のCAN/LINデータベースを使用することができます。

特 徴

□プロトコルカバレッジ

- CAN, CAN-FD(予定), LIN, TP, Diagnosis

□監視項目

- メッセージ
- シグナルインフォメーション
- バス統計情報
- グラフ表示

□送受信メッセージ

- 様々な送信方法をサポート
- LINスケジュールテーブルに基づいてデータを送信

□データの分析と評価

- ネットワークと機能シミュレーションの為のスクリプトをサポート

□データロギングとリプレイ

- データを保存(*.asc)し、保存されたファイルを利用し分析が可能
- Excelファイルへの出力が可能

□スクリプト言語

- Lua 5.1 に対応
- ViCSiM/+のイベントに対応した関数が利用可能

□シミュレーション

- スクリプトで仮想ノードを作成および制御可能
- パネルを作成してノードに関連付け可能

□自己診断機能

- CAN診断記述ファイル(*.cdd)を利用可能

機 能 要 約

グラフ
送受信されるデータとデータベースを連動して計算されたシグナル値をGraph形式で表示します

バス統計
チャンネルで発生した標準/拡張データフレーム、標準/拡張Remoteフレーム、Errorフレームの統計およびハードウェアの状態を表示します

トレース
送受信されるデータをテキストとして表示し、接続されたデータベースに合わせてシグナル情報を表示します

CAN / LIN / TP ジェネレータ
使用されるブロックへのデータ転送時にデータベースと連動したデータ転送や、ユーザー定義のデータ転送が可能です

ネットワーク
各チャンネルにScriptとDLLを利用して、仮想ノードの作成とシミュレーション機能を提供します

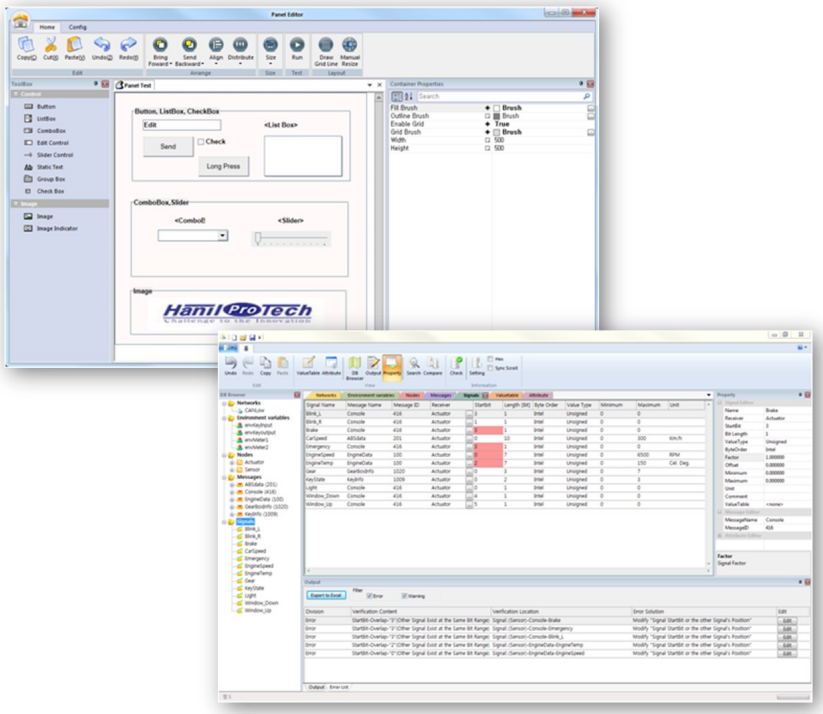
パネル
ユーザーUIを構成し、Scriptと接続して、ユーザーが必要な機能と必要な情報を出力する際に使用されます

CANデータベース
ViCSiM/+でDB Designerを実行して、*.dbcファイルを確認し、編集することができます

リプレイ
Recordブロックで保存したデータを再生する機能で、保存されたデータを分析するために使用されます

保存
ネットワーク上で発生したデータを保存する機能。 ASCII（*.asc）ファイル形式で保存します

フィルター
観測したいデータだけをフィルタする機能。 分析または保存するときに使用されます(Channel Filter, Message Filter)



パネルエディター
- パネルの作成と変更
- 環境変数に紐付けされたパネルを操作することできます

データベースデザイナー
- CANデータベースファイルの作成
- CANデータベースの一貫性を確保
- CANデータベースの変更と保存

株式会社ピーアンドエーテクノロジーズ
www.pa-tec.com
〒020-0834 岩手県盛岡市永井16-13-1
Phone：019-637-8330 Fax：019-637-8331